

# 『はじめての沖縄』



ましまさひこ 岸政彦 / 著、しんようしゃ 新曜社、  
1404円

20代半ば、たまたま訪れた沖縄にはまり、何度も通って沖縄社会を研究する大学教授が、人々との交流を通して沖縄について考え、つづっています。人の優しさやフレンドリーさと、基地や経済の問題がからむ権力への抵抗、内地（本土）の人への違和感。やわらかい語り口で複雑な歴史や構造に切り込む、ひと味違った沖縄についての本です。人々の何げない日常を切り取った写真もみどころ。